

内容	「改革検討委員会」委員長より、6 月 4 日に最終報告された由。結局大多喜町は変わらないのですね。少なくともこの先、4 年間。 来春の選挙は人口減の大多喜町政を整え直すギリギリのタイミングと私は思ったのですが。町長の英断で「大多喜ルネッサンス」を起こして欲しいと切望していたのですが。 町長はこの定数を本当に適正とお思いですか。今回の「改革検討委員会」の現状維持に持ち込む方策は本当に適正に行われたとお思いですか。そもそも町民へのアンケートを取るに当たって、先ず議員全員が維持を表明したタイミングを本当に適正とお思いですか。アンケートには反対意見も多く寄せられたと思いますが、町長はお目を通されましたか。「改革委員会」に議員任期の検討をお尋ねになりましたか。7 期目の議員の存在をどうお思いですか。議員だけの検討に任せれば「改革」は名ばかりのポーズに過ぎず、全員が維持を主張するでしょう。ただ一人として減数を提案する議員はいなかったのですから。町長は、これが本当にベストとお思いですか。本当に 12 人の必要だとお思いですか。町長はこの町の最高権力者です。忖度は無しです。町長の存在を前面に出して、活力ある賢明な刷新議会にして真に町民を惹きつける議会にしてください。 日本語は元来縦書きです。国語の教科書は横書きになりましたか。どうか縦書きに戻してください。
回答	議員定数の改正につきましては、議会議員の任期ごとに議会で十分に検討され、定数が改められてきましたので、この度も、議会改革検討委員会において、議員定数削減のメリットやデメリットなどについて議論されたものです。

また、議員定数の改正に当たりましては、議会において当該条例を改正する議案が可決されなければ改正することができませんので、議会において十分検討された結果に基づくことが望ましいと考えております。

次に、町長への手紙の用紙について、回答文や町からの通知文が横書きのため、今回から横書きの用紙に変更しました。書き方に決まりはありませんので、書きやすいかたちで使用していただければと思います。

つきましては、この度のお手紙を貴重な御意見として承り、引き続き、効率的かつ効果的な行財政の運営に努めてまいりますので、御理解くださるようお願い申し上げます。